

平成23年9月7日

株式会社 山陰合同銀行

とっとりの森「カーボン・オフセット」パートナー協定調印式開催について ～鳥取県J-VERを活用した“業界初”の取組を支援～

山陰合同銀行(頭取 久保田 一朝)では、地域貢献・地域環境保全の取り組みの一環として、鳥取県J-VER地域コーディネーターとしての活動を推進するなかで、平成23年9月12日(月)に鳥取県(知事 平井 伸治)と株式会社武晃建設(代表取締役 山根 武、鳥取市)との間に「とっとりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」(以下、「本協定」という。)を締結し、同日、調印式(別紙)が行われることとなりましたのでお知らせいたします。

鳥取県では、オフセット・クレジット(J-VER)制度を早くから積極的に活用し、県有林の整備・保全に取り組んでおられます。鳥取県の積極的な取組は、県内の森林林業関係者・事業者等へ波及し、現在、鳥取県内では6事業が登録されています。(平成23年8月末現在、プロジェクト実施地ベースで6事業以上が同一都道府県内において登録されているのは、全国でも鳥取県含め9道府県のみ。)

株式会社武晃建設では、公共事業を中心に土木関連工事を手がけられており、国土交通省が公表する工事成績においても上位にランキングされています。また、積極的な事業展開を図りながら、地域に根ざした企業経営を志向しておられます。

本件におきましては、当行の紹介により、株式会社武晃建設が鳥取県が保有するJ-VERを100t-CO2購入し、自社においてカーボン・オフセット(温室効果ガスの埋め合わせ)することとなります。具体的には、株式会社武晃建設が行う工事等において発生する温室効果ガスの一部を、平成23年度から平成25年度の3年にわたり、本協定に基づいて購入した鳥取県J-VERによって埋め合わせいたします。また、鳥取県の環境シンボル“エコトリピー”を工事現場等に設置し、環境配慮型工事というユニークな取組のPRとともに、鳥取県における森林の整備・保全の取り組みを広く発信していかれます。

当行は「鳥取県J-VER地域コーディネーター」としての活動を通じ、地域の森林保全・整備の取組を後押しするオフセット・クレジット(J-VER)制度の地域社会への浸透と、カーボン・オフセット提案及びマッチング支援を行いました。当行では、環境経営・CSRとしての取り組みを推進される地元企業等への積極的な支援・提案を通じ、地域環境保全および地域経済活性化に資する活動を引き続き推進してまいります。

<次頁に続く>

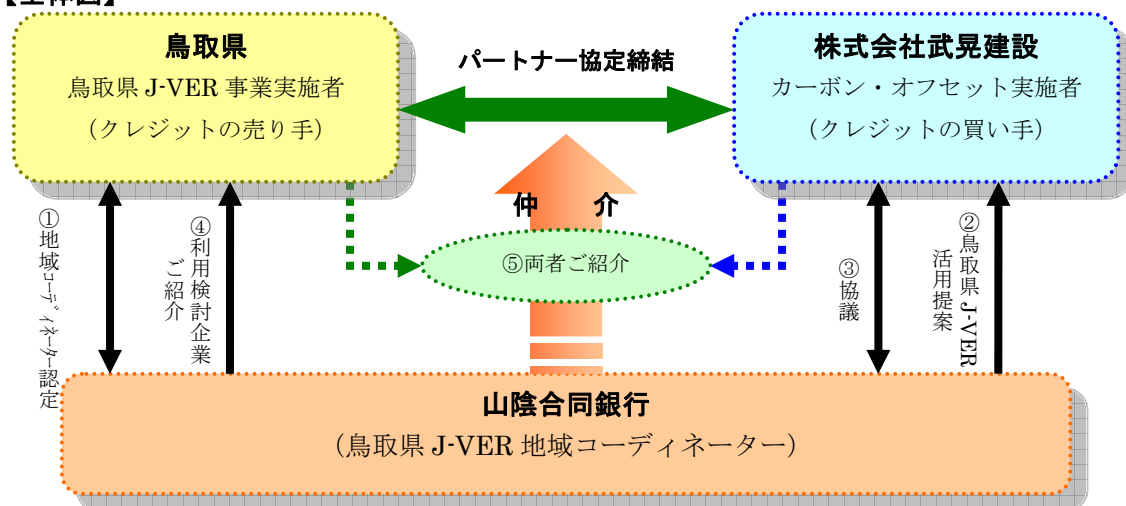
(別紙)

<調印式の概要>

- (1) 日 時： 平成23年9月12日(月) 11時30分~12時00分
(2) 場 所： 鳥取県 知事公邸 第一応接室
(3) 出席者： (敬称略)
<鳥取県>
知事 平井 伸治
<株式会社武晃建設>
代表取締役 山根 武
※以上は調印者
<当行>
取締役兼専務執行役員鳥取営業本部長 石丸 文男
- (4) 式次第： ①開会/出席者紹介
②概要説明
③調印者署名(写真撮影)
④調印者挨拶(平井鳥取県知事、山根代表取締役)
⑤経緯・取組説明(株式会社山陰合同銀行)
⑥質疑応答
⑦閉会

以上

【全体図】



(ご参考) 鳥取県 J-VER 地域コーディネーターについて

鳥取県が県内事業者等のカーボン・オフセットを推進するため、カーボン・オフセットに取り組む県内外の事業者・団体に対し、カーボン・オフセットの提案及び県有林 J-VER マッチング支援を行うコーディネーターを募集。平成22年12月9日に当行が第一号の認定を受けたもので、活動期間は認定日より平成25年3月31日まで。コーディネーターの活動によって県有林 J-VER の売買契約が成立した場合、鳥取県からコーディネーターに売買契約額の5%が支払われる。